

付録 A

マッチプレー

メモ：黄色のハイライト部分が修正点となります。

A.01 総論

- A. マッチプレーでは、各ホールを勝つことを目的に選手が 1 対 1 でラウンドを競う。より多くのホールに勝利を獲得したプレイヤーがマッチ（試合）に勝利する。
- B. 以下のルールによって置き換えられる場合を除き、PDGA の公式ルール（メダルプレー）が適用される。
- C. 対戦ペアは、少なくとも他の 1 組の対戦ペア、またはオフィシャルのペアとグループでプレーする。

A.02 プレーの順番

- A. 同じグループ内の対戦ペアのティースローの順番は、スコアカード上に記載された順番に従う。
- B. 対戦ペアごとに、最初のホールの投げ順は、スコアカード上に記載された順番に従う。その後のすべてのホールで、前のホールでスコアが良かったプレイヤーが先にスローする。タイの場合、スローの順番は変わらない。

A.03 ペナルティ

- A. ~~プレイヤーは、対戦相手のみに違反をコールするか、警告することができる。グループのまたはオフィシャルの他のどのプレイヤーもコールを確認できる。~~
- B. ホール間内で確認されたペナルティと警告は、次のホールに適用持ち越される。

A.04 得点

- A. マッチプレーでの得点は、ある時点でどちらのプレイヤーがより多くのホールに勝利したか、ポイントによって記録される。マッチプレーは、同スコア、またはオールスクエアで開始される。マッチ試合が進むにつれて、より多くのホールに勝利したプレイヤーは、それらの数を「アップ」しているとし、対戦相手は、それらの数のホールを「ダウン」しているとする。
- B. プレイヤーは、相手より少ないスロー数でホールを完了することでホールを勝利獲得する。ホールに勝利を獲得したプレイヤーは、得点 1 となる。相手側のプレイヤーは得点ではなく、これは斜線（ダッシュ）で示すことができる。2 人のプレイヤーが同数のスローでホールを完了した場合、そのホールは引き分けとなり、どちらのプレイヤーも得点とはならない。
- C. プレイヤーは、現在行なっているホールで何投スローしたかを相手に尋ねることができる。その数を誤っ

て報告したプレイヤーは、そのホールは負けになる。

A.05 コンシード（合意）

A. プレーヤーは、マッチ試合が終わる前であっても、マッチをコンシードしてもよい（マッチの負けを認めてもよい）。そのマッチは対戦相手の勝利となる。

B. プレーヤーは、両方のプレイヤーがホールを完了する前であっても、いつでもホールをコンシードしてもよい（ホールの負けを認めてもよい）。そのホールは対戦相手の勝利となる。

C. プレーヤーは、相手の次のスローをコンシードしてもよい（スローの省略を認めてもよい）。相手はホールを完了したとみなされる。

D. 対戦ペア同士で、プレー中のホールを引き分けにすることを同意できる。

E. コンシードお互いの譲歩は、拒否したり撤回はできない。

A.06 マッチ試合の勝敗

A. 一方のプレイヤーが残っているホール数よりも多くのアップ数を得た場合、そのプレイヤーがマッチプレーに勝利したとする。

B. 対戦ペアがラウンド終了時に全く同スコアである場合、マッチ試合はタイであるに持ち越される。ディレクターは、タイを決着させるかどうか、どのようにタイを決着させるか、を決定する。